



移住者名	助永 夫妻
都道府県	島根県
移住先	大阪府 八尾市⇒島根県 隠岐郡 隠岐の島町
移住年	夫 2013年4月 / 妻 2015年6月
職業	夫 医師 妻 空港地上職員⇒地域おこし協力隊
家族構成	夫婦2人
移住形態	1ターン

## Q. 移住したきっかけは？

夫 大阪生まれ大阪育ち。医師になったあとも9年間大阪で仕事をしていました。ずっと都市部で過ごしてきた自分の今後の人生を改めて考えたとき、離島へき地での勤務という選択肢が浮上してきました。日本には離島へき地と言われるところは沢山ありますが、その中でも隠岐は旅行で何度か来たご縁があり、地元・大阪との距離感も皆さんが想像されるよりもかなり近い（飛行機45分）離島で、最終的に赴任することを決めました。

妻 大阪生まれ、大阪育ち、親の転勤で兵庫県へ移り住み、成人してからはずっと大阪で暮らしておりました。前職は関西国際空港で勤務しており、人と接することが大好きで、仕事に対して愛情と熱意を持って取り組んでおりました。移住のきっかけは、主人が隠岐の島町で先に勤務しており、隠岐の島町にアンテナを張るようになりました。地域のことを知る為に、直ぐに働こうと、働き先が決まったら、隠岐に行こうと決めていました。偶然、地域おこし協力隊の募集を拝見し、業務内容がとても興味深かったので、エントリーし、ご縁があつて採用頂きました。10年間働いていた職場を思い切って退職し、新天地の隠岐で頑張ってみようと思えました！

## Q. 移住の際不安に思ったことは？

夫 前情報としては、コンビニがない、朝刊が夕方に届く、天気が荒れると空路も海路も閉ざされ本当の孤島になる、などネガティブなものが多かったです。仕事をしていく上でも、ちゃんと細心の情報を得られ続けるのか、井の中の蛙になってしまうか、などの不安は強くありました。ただ、結果的にはこのような問題は杞憂に過ぎませんでした。住んでみればコンビニがなくて不便に思うこともなく、インターネット環境さえ整えさえすれば、情報アクセスはなんら都市部と変わりません。

逆に都市部からすると非日常的な離島の中で、刺激的で贅沢な毎日を感じています。

妻 引っ越しをする前に旅行で、夏と冬の時期に二回来ておりました。隠岐は四季をしっかりと感じる事が出来ます。主人が先に来ていたので、生活面での苦勞はあまりなかったです。ないものはないと覚悟しておりましたし、ないならば作ろうと気持ちに変化がありました。

一番不安に思っていたことは、知り合いがいないことでした。地域を知る為に、出来るだけ、地域の行事に参加しました。今でも隠岐でしか出来ないことを積極的に取り入れるように心掛けております。

隠岐の島町には、6月にウルトラマラソンがあります。隠岐の島で働いているということを肌身で感じる、とても大事な日です。

隠岐の島でいうところの「ハーフマラソン」なので、西側半分しか回りませんが、各地区を自分の足で周り、隠岐の自然の素晴らしさ、人情の暖かさ、食べものの美味しさなどを実感できます。

昨年と今年、夫婦で50キロエントリーし、無事完走することが出来ました。まさか50キロを走るなんて、2年前の私からは想像も出来ませんでした。この島に心が動かされたのか、人生においても、いい思い出となりました！

来年もエントリーするか、応援団に回るか、早くも迷ってます☆  
島 RUN は、オススメです！！



## Q. 移住して良かったことは？

夫 医療においては、都市部ではモヤモヤしていたしがらみから解放されたのが一番です。たらい回しや権力争いなど、患者さんと関係のないところで嫌な思いをしてきました。隠岐では患者さんに近いところで本質的な医療を健やかに展開できていると感じています。

また仕事を離れたところでも、医療とは違うジャンルの方(農家さんや漁師さんなど)とも多く知り合えました。

これも離島の大きな魅力だと思います。狭かった自分の人生観を大きく広げていただけており、色んな意味で「人間力」が強くなっているように思います。

妻 『隠岐の島町に来て人間力が高まりました！』

まるごとの魚を捌くことなど、今までの生活の中では考えられませんでした。漁師さんの奥さんの特訓のおかげで、何とか捌けるようになりました。島の皆さんにとって当たり前のことが、私にとっては、とても新鮮で、様々な体験を通して、日々刺激を受けております。地域おこし協力隊の活動を通して、漁師さん、農家さん沢山の方と知り合うことが出来ました。

地域活性化の為に今何が出来るかよく考え、少しでもお役に立てるように日々精進しています。

これからも隠岐の島町の良いところを沢山見つけて、どんどん魅力を発信していきたいです☆

## Q. 移住を考えている方へメッセージ

離島に住むことのメリット、あるいは逆に都市部に住み続けるデメリットを考えたことはありますか？

人によって価値観は異なりますが、少なくともこの記事を読まれてる方であれば離島に興味があるのではないかと思います。ただ、都市部を捨てきれない・・・価値観の多様性の広がりもあり、最近では「二拠点居住」という選択肢も徐々に広がってきています。離島に移住する＝離島に骨を埋める、といった離島か都市部かという二極論ではなく、いいとこ取りでいいんじゃないかと思っています。離島へ移住したからといって、俗世を断つ訳ではありません(笑)。

たまに都市部にも帰れて楽しむこともでき、普段は心健やかに離島で暮らす。

実は多くの人にマッチしうる生活スタイルではないかなと感じています。